

ドアが開いた状態で列車が移動した事象について（芸備線）

2025年12月8日、芸備線 広島駅で、ドアが開いた状態で列車が移動した事象が発生しました。ご利用のお客様にはご心配とご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。

1 発生日時

2025年12月8日（月）14時29分頃

2 場 所

芸備線 広島駅 構内

3 列 車

上り普通列車 2両編成

広島駅（14時38分）発 三次駅（16時15分）行

ご乗車のお客様：約80名

4 概 況

広島指令所の指令員は、運転士から「発車待ちをしていた際に、列車のブレーキが緩み、扉が開いた状態で列車が移動したため直ちに停車させた」旨の報告を受けたため、車両の安全確認を行い、運転を再開した。

※ご乗車のお客様にお怪我はありませんでした。

※その後の調査で約6m移動していることが判明しました。

5 列車影響

当該列車に最大約10分の遅れが発生しました。

6 原 因

発車準備後、停止ブレーキ中に何らかの原因でブレーキ圧力が低下したためです。

以 上